

表-4 その他内水域の対策案（ロードマップ）

項目	内容	事業主体	対策期間										備考							
			短期																	
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6~10年目	11年目以降											
平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度 ~平成38年度	平成39年度 ~平成48年度													
	対策効果		<p>H29出水期における主な整備効果 【内水排除対策の検討実施】 ・平成28年度～平成29年度に実施（平成30年出水期までに完了） 【浸水実績等の公表】 ・H28.6.23大雨時の洪水による浸水範囲</p> <p>H31出水期における主な整備効果 【防災マップ・避難マニュアル作成】 ・住民の早期避難体制確立 ⇒住民の早期避難行動の促進 【許可工作物の点検実施】 ・施設の機能維持及び不具合箇所の早期把握 【排水機場等の弾力的運用開始】 【農業用樋門等の適切な管理開始】 ・主要水路への流入負担軽減⇒用水路の水位低下</p> <p>長期対策実施後における主な整備効果 【ハード整備完了】 ・その他内水域の検討結果より整備内容を検討⇒用排水路の水位低下</p>																	
瀬戸川流域における治水対策検討会	(第1回) 気象・被害状況整理 (第2回) 被災原因・対策案 (第3回) 今後の整備方針	国・県・市 土地改良区	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	◆：瀬戸川流域治水対策検討会 (H28：8/5, 9/13, 10/18)	
その他流域の検証及び検討	内水排除対策の検討	市	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	・その他内水域の検討を実施	
ハード対策	河道の整備	① 用排水路の排水能力向上	市																・その他内水域の検討結果より整備内容を検討	
	排水機場等の整備	② 排水機場等の整備	市																・その他内水域の検討結果より整備内容を検討	
	防災情報の提供	③ 浸水実績等の適切な情報提供	市																	・H28.6.23降雨規模に基づく浸水実績図を作成
		④ 主要箇所への避難経路などの作成支援	市																	・H28.6.23降雨規模に基づく避難経路の設定
	地域との連携	⑤ 自主防災組織活動支援	市																	・地域の防災活動支援
		⑥ 自主防災組織と連携した防災マップの作成及び周知	市																	・防災マップ作成支援
			地域																	・防災マップ作成
		⑦ 自主防災組織による避難マニュアルの作成	市																	・避難マニュアル作成支援
	地域																		・避難マニュアル作成	
	各施設の効率的・効果的な運用	⑧ 排水機場の効率的・効果的な運用	市																	・その他内水域の検討結果に基づき運用方法を検討
		⑨ 農業用の取水・分水樋門の適切な管理	市 土地改良区																	・その他内水域の検討結果に基づき運用方法を検討
維持管理	⑩ 各種管理施設の点検・報告	市 土地改良区																	・許可工作物の出水期前点検の実施（樋門、樋管、水門、排水機場等）	
	⑪ 用排水路の維持管理	市 土地改良区																	・現地状況を踏まえ、治水上の支障となる堆積土砂撤去を実施	
瀬戸川流域対策フォローアップ	各対策の進捗状況と検討状況について確認	国・県・市 土地改良区																		

検討・調整等
 フォローアップ準備
 整備期間
 対策効果の一部発現
 対策効果の発現
 連携・支援・共有
 運用